

## 【海外派遣】

関西国際センターでの経験を海外で活かします！

関西国際センター（KC）からは、毎年数名が海外に派遣されています。これまで、ケルン、パリ、ソウル、ジャカルタ、バンコク、マニラ、クアラルンプール、サンパウロ、マドリード、ブダペスト、ハノイ等々、海外拠点の日本語上級専門家として派遣されることが多かったのですが、現在では若手にも日本語専門家として派遣される道が開けています。

海外に赴任して感じることは、KCで経験をつんでいると、海外で要求される様々な業務にも柔軟に対応できるということです。もちろん派遣そのものは、専門家自身の資質と経験とによって、国際交流基金本部で慎重に決定されるのですが、学習者研修中心のKCでのコースのデザイン、交流会や学校訪問のアレンジ、そしてこれらをチームで話し合いながらコースを作っていくという経験は、海外での教師研修や各種イベントの準備や運営にも大いに役立ちます。やはり、日々、多国籍、多文化の研修参加者と接していることが、大きな強みとなっています。

KCから海外に派遣されると、現地では様々な業務が待っています。特に海外拠点では、チームでの業務が多くなるので、これはKCでの経験がすぐに役に立ちます。また、小学校から大学に至るまで、各種教育機関を訪問する機会が多いのですが、その際にはすでにKCの学習者研修で用いたリソースが大いに力を発揮します。特にeラーニング関連では、KCが作成しているものについては適切な活用方法を伝えていくことができます。そして、何とんでも、KCの研修修了者と現地で旧交を温めることができるのはありがたいことです。彼らは確実にステップアップし、場合によっては当該国の重要なポストに就いていることも少なくありません。まさに教師冥利です。

このように、KCでの経験を海外に活かし、その経験を持ち帰ることで、国際交流基金の日本語事業がより活性化されていく——そして、その一翼を担うことができるのは、KCの日本語教育専門員の大きな魅力の一つだと思います。